

## 東海大学医学部(1日目) 数学

2025年2月2日実施

- 1 (1)  $\sum_{k=1}^n \frac{1}{3k(3k+3)} = \boxed{\text{ア}}$  である。
- (2) 関数  $f(x) = \left(\frac{4}{2^x}\right)^x$  は、 $x = \boxed{\text{イ}}$  のとき最大値  $\boxed{\text{ウ}}$  をとる。
- (3)  $(x+1)^{26}$  の展開式における  $x^2$  の項の係数は  $\boxed{\text{エ}}$  である。  $26^{26}$  を 625 で割ったときの余りは  $\boxed{\text{オ}}$  である。
- (4) さいころを3回投げ、出た目を順に  $x, y, z$  とする。このとき、 $x \leq y \leq z$  となる場合は  $\boxed{\text{カ}}$  通りである。
- (5) 実部が1であり、虚部が正である複素数  $z$  において、 $z^3$  の虚部  $y$  がとりうる値は  $y \leq \boxed{\text{キ}}$  である。
- (6)  $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$ ,  $\pi < \beta < \frac{3}{2}\pi$ ,  $\tan \alpha = 2$ ,  $\tan \beta = 3$  のとき、 $\cos(2\alpha + \beta) = \boxed{\text{ク}}$  である。
- (7)  $0 < a < 4$  とする。直線  $l: y = ax$  と放物線  $C: y = 4x - x^2$  の共有点のうち、 $x$  座標が正である点を  $P$  とおく。このとき  $P$  の  $x$  座標は  $a$  を用いて表すと  $\boxed{\text{ケ}}$  である。また、 $C$  と  $l$  により囲まれた部分の面積と、 $l$  と  $x$  軸と直線  $x = \boxed{\text{ケ}}$  により囲まれた部分の面積の比が  $2:1$  になるのは、 $a = \boxed{\text{コ}}$  のときである。

### 解答

ア.  $\frac{n}{9(n+1)}$  イ. 1 ウ. 2 エ. 325 オ. 26 カ. 56 キ. 2 ク.  $\frac{3\sqrt{10}}{10}$  ケ.  $4-a$  コ.  $\frac{4}{7}$

### 解説

(1)

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{3k(3k+3)} &= \frac{1}{9} \sum_{k=1}^n \left( \frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) \\ &= \frac{1}{9} \left( 1 - \frac{1}{n+1} \right) = \frac{n}{9(n+1)} \end{aligned}$$

(2)

$$f(x) = \left(\frac{2^2}{2^x}\right)^x = (2^{2-x})^x = 2^{2x-x^2} = 2^{-(x-1)^2+1}$$

$-(x-1)^2+1$  が最大るとき  $f(x)$  も最大となるので、 $f(x)$  は  $x=1$  のとき最大値  $2$  をとる。

(3)  $(x+1)^{26}$  の展開式における  $x^2$  の項の係数は、 ${}_{26}C_2 (= {}_{26}C_{24}) = 325$  である。

一方、

$$\begin{aligned} (x+1)^{26} &= {}_{26}C_0 x^{26} + {}_{26}C_1 x^{25} + {}_{26}C_2 x^{24} + \cdots + {}_{26}C_{24} x^2 + {}_{26}C_{25} x + {}_{26}C_{26} \\ &= x^2 ({}_{26}C_0 x^{24} + {}_{26}C_1 x^{23} + {}_{26}C_2 x^{22} + \cdots + {}_{26}C_{24}) + {}_{26}C_{25} x + {}_{26}C_{26} \end{aligned}$$

と表される. この式に  $x = 25$  を代入する.  $25^2 = 625$  を法とする合同式を用いると

$$\begin{aligned} (25 + 1)^{26} &= 25^2 ({}_{26}C_0 25^{24} + {}_{26}C_1 25^{23} + {}_{26}C_2 25^{22} + \cdots + {}_{26}C_{24}) + {}_{26}C_{25} 25 + {}_{26}C_{26} \\ &\equiv (25 + 1)25 + 1 \\ &\equiv 25 + 1 = 26 \end{aligned}$$

となるので,  $26^{26}$  を  $625$  で割ったときの余りは **26** である.

(4)  $x, y, z$  は 1 以上 6 以下の自然数であるので,

$$1 \leq x \leq y \leq z \leq 6 \iff 1 \leq x < y + 1 < z + 2 \leq 8$$

$y + 1 = Y, z + 2 = Z$  とおくと  $1 \leq x < Y < Z \leq 8$  であり,  $x \leq y \leq z$  となる場合の数は 1 から 8 の自然数の中で異なる 3 数を選ぶ組合せに等しい. したがって  ${}_8C_3 = 56$  通り.

(5)  $z = 1 + bi$  とおくと (ただし  $b$  は正の実数),

$$z^3 = (1 + bi)^3 = (1 - 3b^2) + (3b - b^3)i$$

となるので,  $y = 3b - b^3$  である.  $f(b) = 3b - b^3$  とすると  $f'(b) = 3 - 3b^2 = 3(1 - b)(1 + b)$  であり,  $f(b)$  の増減は右のようになる. したがって,  $y \leq 2$  である.

$b$	(0)	...	1	...
$f'(b)$		+	0	-
$f(b)$	(0)	↗	2	↘

(6)  $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$ ,  $\tan \alpha = 2$  より,  $\cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{5}}$ ,  $\sin \alpha = \frac{2}{\sqrt{5}}$  となり,

$\pi < \beta < \frac{3}{2}\pi$ ,  $\tan \beta = 3$  より,  $\cos \beta = -\frac{1}{\sqrt{10}}$ ,  $\sin \beta = -\frac{3}{\sqrt{10}}$  となる.

よって

$$\begin{aligned} \cos(2\alpha + \beta) &= \cos 2\alpha \cos \beta - \sin 2\alpha \sin \beta \\ &= (\cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha) \cos \beta - 2 \sin \alpha \cos \alpha \sin \beta \\ &= \left( \frac{1}{5} - \frac{4}{5} \right) \left( -\frac{1}{\sqrt{10}} \right) - 2 \cdot \frac{2}{\sqrt{5}} \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} \left( -\frac{3}{\sqrt{10}} \right) = \frac{3\sqrt{10}}{10} \end{aligned}$$

(7)  $y = ax$  と  $y = 4x - x^2$  を連立すると

$$ax = 4x - x^2 \iff x\{x - (4 - a)\} = 0$$

$x > 0$  より, P の  $x$  座標は  $4 - a$  である.

次に  $C$  と  $l$  により囲まれた部分の面積を  $S_1$ ,  $l$  と  $x$  軸と直線  $x = 4 - a$  により囲まれた部分の面積を  $S_2$  とすると,

$$S_1 = \int_0^{4-a} \{(4x - x^2) - ax\} dx = - \int_0^{4-a} x\{x - (4 - a)\} dx = \frac{1}{6}(4 - a)^3$$

$$S_2 = \frac{1}{2} \cdot (4 - a) \cdot a(4 - a) = \frac{1}{2}a(4 - a)^2$$

$S_1 : S_2 = 2 : 1$  より

$$S_1 = 2S_2 \iff \frac{1}{6}(4 - a)^3 = a(4 - a)^2 \iff (4 - a)^2(4 - 7a) = 0$$

$0 < a < 4$  より,  $a = \frac{4}{7}$  である.

**2** 四面体 OPQR において

$$OP = OQ = PQ = 2, QR = 2\sqrt{3}, OR = 4, PR = 3\sqrt{2}$$

であり,  $\vec{OP} = \vec{p}, \vec{OQ} = \vec{q}, \vec{OR} = \vec{r}$  とおく.

- (1)  $\vec{p} \cdot \vec{q} = \boxed{\text{ア}}$ ,  $\vec{q} \cdot \vec{r} = \boxed{\text{イ}}$  である.
- (2)  $\cos \angle POR = \boxed{\text{ウ}}$ ,  $\vec{p} \cdot \vec{r} = \boxed{\text{エ}}$  である.
- (3) 3点 O, P, Q を通る平面を  $\alpha$  とし, 点 R から  $\alpha$  へ下ろした垂線と  $\alpha$  の交点を H とする.  $x, y$  を実数として,  $\vec{OH} = x\vec{p} + y\vec{q}$  とおく.  $\vec{p} \cdot \vec{RH}$  を  $x, y$  を用いて表すと  $\vec{p} \cdot \vec{RH} = \boxed{\text{オ}}x + 2y - 1$  であり,  $\vec{q} \cdot \vec{RH}$  を  $x, y$  を用いて表すと  $\vec{q} \cdot \vec{RH} = \boxed{\text{カ}}x + 4y - 4$  であるから,  $x = \boxed{\text{キ}}$ ,  $y = \boxed{\text{ク}}$  となる.
- (4) 直線 PH と直線 OQ の交点を L とすると,  $OL : LQ = \boxed{\text{ケ}} : 1$  である.

**解答**

ア. 2 イ. 4 ウ.  $\frac{1}{8}$  エ. 1 オ. 4 カ. 2 キ.  $-\frac{1}{3}$  ク.  $\frac{7}{6}$  ケ. 7

**解説**

- (1) 三角形 OPQ は正三角形であり, 三角形 OQR は  $1 : 2 : \sqrt{3}$  の直角三角形であるので, 内積はそれぞれ以下のようになる.

$$\vec{p} \cdot \vec{q} = 2 \cdot 2 \cdot \cos 60^\circ = 2$$

$$\vec{q} \cdot \vec{r} = 2 \cdot 4 \cdot \cos 60^\circ = 4$$

- (2) 余弦定理から

$$\cos \angle POR = \frac{4 + 16 - 18}{2 \cdot 2 \cdot 4} = \frac{1}{8}$$

であるので,

$$\vec{p} \cdot \vec{r} = 2 \cdot 4 \cdot \frac{1}{8} = 1$$

- (3)  $\vec{OH} = x\vec{p} + y\vec{q}$  であるので  $\vec{RH} = \vec{OH} - \vec{OR} = x\vec{p} + y\vec{q} - \vec{r}$  である.

$$\begin{aligned} \vec{p} \cdot \vec{RH} &= \vec{p} \cdot (x\vec{p} + y\vec{q} - \vec{r}) \\ &= x|\vec{p}|^2 + y\vec{p} \cdot \vec{q} - \vec{p} \cdot \vec{r} \\ &= 4x + 2y - 1 = 0 \dots \text{①} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \vec{q} \cdot \vec{RH} &= \vec{q} \cdot (x\vec{p} + y\vec{q} - \vec{r}) \\ &= x\vec{p} \cdot \vec{q} + y|\vec{q}|^2 - \vec{q} \cdot \vec{r} \\ &= 2x + 4y - 4 = 0 \dots \text{②} \end{aligned}$$

①, ②から  $x = -\frac{1}{3}, y = \frac{7}{6}$  を得る.

- (4)

$$\vec{OH} = -\frac{1}{3}\vec{p} + \frac{7}{6}\vec{q} = -\frac{1}{3}\vec{p} + \frac{4}{3}\left(\frac{7}{8}\vec{q}\right)$$

において、 $\frac{7}{8}\vec{q} = \vec{OZ}$  とすると、

$$\vec{OH} = -\frac{1}{3}\vec{OP} + \frac{4}{3}\vec{OZ}$$

と表すことができるので、H は線分 PZ を 4 : 1 に外分する点であることがわかる。

したがって、 $\vec{OL} = \vec{OZ} = \frac{7}{8}\vec{OQ}$  であることが分かり、 $OL : LQ = 7 : 1$ 。

別解

$$\vec{OH} = -\frac{1}{3}\vec{p} + \frac{7}{6}\vec{q} = \frac{5}{6} \cdot \frac{-2\vec{OP} + 7\vec{OQ}}{5}$$

と変形できるので、線分 PQ を 7 : 2 に外分する点を S とすると、点 H は線分 OS を 5 : 1 に内分する点である。したがって、メネラウスの定理から

$$\begin{aligned} \frac{LQ}{OL} \cdot \frac{PS}{QP} \cdot \frac{HO}{SH} &= 1 \\ \Leftrightarrow \frac{LQ}{OL} \cdot \frac{7}{5} \cdot \frac{5}{1} &= 1 \\ \Leftrightarrow OL : LQ &= 7 : 1 \end{aligned}$$

別解

L は直線 OQ 上にあるので、

$$\vec{OL} = k\vec{q}$$

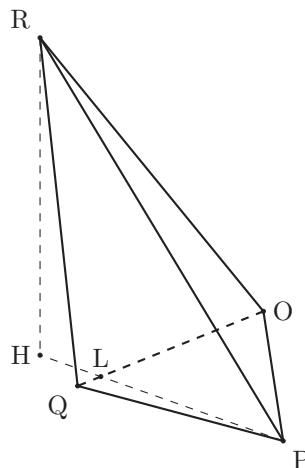
また、L は直線 PH 上にあるので、

$$\vec{OL} = (1-t)\vec{p} + t\left(-\frac{1}{3}\vec{p} + \frac{7}{6}\vec{q}\right) = \left(1 - \frac{4}{3}t\right)\vec{p} + \frac{7}{6}t\vec{q}$$

$\vec{p}$ ,  $\vec{q}$  は一次独立であるので、

$$\begin{cases} 1 - \frac{4}{3}t = 0 \\ \frac{7}{6}t = k \end{cases}$$

より、 $t = \frac{3}{4}$ ,  $k = \frac{7}{8}$  を得る。したがって、 $OL : LQ = 7 : 1$ 。



3  $xy$  平面上に 3 点  $O(0, 0)$ ,  $A(1, 0)$ ,  $B(1, \sqrt{3})$  をとり,  $\triangle AOB$  を考える.

- (1)  $\angle AOB$  を二等分する直線  $l$  の方程式は  $y = \boxed{\text{ア}}$  である.
- (2)  $\triangle AOB$  に内接する円  $C$  の半径は  $\boxed{\text{イ}}$  であり, 中心の  $x$  座標は  $\boxed{\text{ウ}}$  である.
- (3)  $l$  と  $C$  の共有点であり,  $O$  との距離が小さい方の点を  $D$  とする. 点  $D$  の  $x$  座標は  $\boxed{\text{エ}}$  である.
- (4) 辺  $OA$ ,  $OB$  と  $C$  に接する円  $C'$  の半径は  $\boxed{\text{オ}}$  であり, 中心の  $x$  座標は  $\boxed{\text{カ}}$  である.
- (5)  $OA$  と  $C$ ,  $C'$  で囲まれた部分の面積は,  $C'$  で囲まれた部分の面積の  $\left( \boxed{\text{キ}} \frac{\sqrt{3}}{\pi} - \boxed{\text{ク}} \right)$  倍である. ただし  $\boxed{\text{キ}}$ ,  $\boxed{\text{ク}}$  には有理数が入るものとする.

**解答**

ア.  $\frac{\sqrt{3}}{3}x$    イ.  $\frac{\sqrt{3}-1}{2}$    ウ.  $\frac{3-\sqrt{3}}{2}$    エ.  $\frac{3-\sqrt{3}}{4}$    オ.  $\frac{\sqrt{3}-1}{6}$    カ.  $\frac{3-\sqrt{3}}{6}$    キ. 4  
 ク.  $\frac{11}{6}$

**解説**

(1)  $\angle AOB = \frac{\pi}{3}$  であるので, 直線  $l$  と  $x$  軸のなす角は  $\frac{\pi}{6}$  である.

したがって, 直線  $l$  の方程式は  $y = \left( \tan \frac{\pi}{6} \right) x = \frac{\sqrt{3}}{3} x$ .

(2) 円  $C$  の半径を  $r$  とすると, 図より

$$OA = \sqrt{3}r + r = 1 \iff r = \frac{\sqrt{3}-1}{2}$$

**別解**

三角形の面積から

$$\frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{1}{2} r (3 + \sqrt{3}) \iff r = \frac{\sqrt{3}-1}{2} \quad (\text{別解終})$$

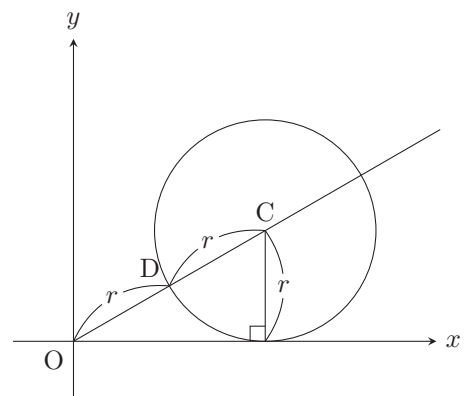
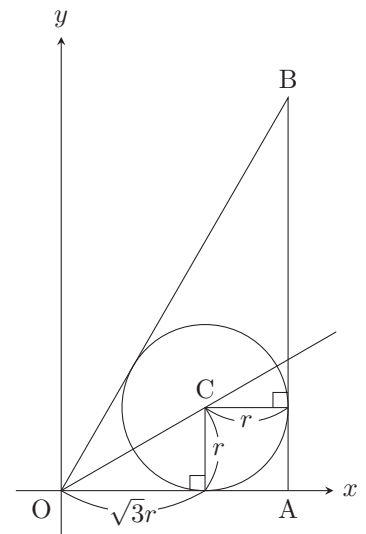
また, 円  $C$  の中心の  $x$  座標は

$$x = \sqrt{3}r = \frac{3-\sqrt{3}}{2}$$

である.

(3) 円  $C$  の中心を  $C$  とすると,  $OD = OC - r = r$  であるので, 点  $D$  は線分  $OC$  の中点である. したがって, 点  $D$  の  $x$  座標は

$$x = \frac{1}{2} \cdot \frac{3-\sqrt{3}}{2} = \frac{3-\sqrt{3}}{4}$$

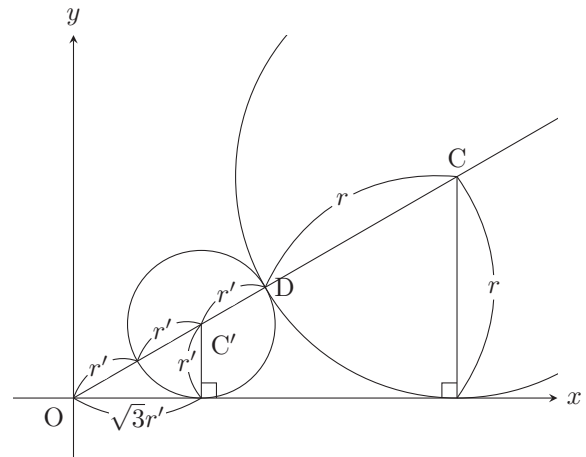


(4) 円  $C'$  の半径を  $r'$  とすると、図より

$$(r + r') : (r - r') = 2 : 1 \iff r' = \frac{1}{3}r$$

が成り立つので、 $r' = \frac{\sqrt{3} - 1}{6}$  である。

また、円  $C'$  の中心を  $C'$  とすると、点  $C'$  の  $x$  座標は  $x = \sqrt{3}r' = \frac{3 - \sqrt{3}}{6}$  である。



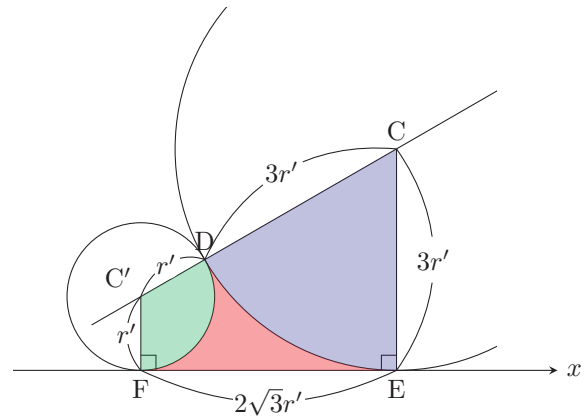
(5)  $OA$  と  $C, C'$  で囲まれた部分は図の赤色部分である。この面積を  $S$  とすると、

$$S = (\text{台形 } CC'FE) - (\text{扇形 } CDE) - (\text{扇形 } C'DF)$$

で求まる。  $r = 3r'$  であることと、

$$EF = \frac{\sqrt{3}}{2}(r + r') = 2\sqrt{3}r'$$

であることに注意すると、



$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2}(r' + 3r') \cdot 2\sqrt{3}r' - \frac{1}{2}(3r')^2 \cdot \frac{\pi}{3} - \frac{1}{2}r'^2 \cdot \frac{2\pi}{3} \\ &= 4\sqrt{3}r'^2 - \frac{11}{6}\pi r'^2 \\ &= \left( \frac{4\sqrt{3}}{\pi} - \frac{11}{6} \right) \pi r'^2 \end{aligned}$$

となるので、 $\left( 4\frac{\sqrt{3}}{\pi} - \frac{11}{6} \right)$  倍である。

講評

①[小問集合] ((1) 易 (2) やや易 (3) 標準 (4) やや易 (5) やや易 (6) 易 (7) やや易)

(3) の後半はやや難しかったが、典型的な問題が並んでおり、できればほぼ完答まで持っていきたい。

②[空間ベクトル] (やや易)

四面体において、平面に下ろした垂線や、2直線の交点について考える問題。誘導が親切すぎるくらい丁寧で、典型題であるので是非完答をねらいたい。

③[平面図形, 図形と方程式] (標準)

座標平面上において、三角形の内接円や、接する2つの円について考える問題。最後の(5)の計算を要領よくやれたかどうかで差がつきそうだが、何とか完答をねらいたい。

昨年度から、出題範囲に数学Ⅲが含まれなくなり、それ以前より問題が易くなったのだが、今回のセットはさらに易くなっている。ただし分量はやや多いので、処理力が得点を大きく左右するだろう。目標は80%。

解答・講評作成 医学部進学予備校メビオ

**メルマガ無料登録で全教科配信!** 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校 **メビオ**  
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **YMS**  
heart of medicine  
医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校

☎03-3370-0410  
<https://yms.ne.jp/>

☎0120-192-215  
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



諦めない受験生をメビオは応援します!

**医学部後期入試**  
**ガイダンス** **参加無料**

**2/11(火・祝)**

14:00~14:30 医学部進学予備校メビオ校舎

詳細やお申込は  
こちらから



**私立医学部** **2025年**  
**大学別後期模試** **入試対策**

- 2/13 近畿大学医学部
- 2/19 金沢医科大学
- 2/20 昭和大学医学部
- 2/23 聖マリアンナ医科大学

詳細やお申込は  
こちらから



医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。  
【受付時間】9:00~21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋  
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分